

平成30年度公民館運営方針

○ 運 営 方 針

公民館は、多くの市民のための生涯学習の場として、中心的役割を担う重要な拠点であり、また、様々な芸術・伝統文化、社会教育に関する団体や教養グループ、趣味サークルなどが自主活動しやすい環境の場を提供できるよう、多様化する市民ニーズに対応した事業展開ならびに柔軟な施設利用ができるように努め、現状の利用実態を検証し市民満足度の向上に取り組んでいきます。

耐震化・改修工事を終えた中央公民館においても、老朽化したホール音響・照明設備の改修等の課題を残すほか、地区公民館においても、施設・設備の老朽化対策も含めた適正な維持管理に努めることとし、平成30年度は富士見文化センター空調設備・屋上防水等改修設計及び工事を行います。

また、今年度も引き続き、行革課題である公民館の運営形態の見直しに向けた議論を一層深めてまいります。

公民館主催事業、各講座については、講座ボランティアのみなさんをはじめ講座参加者、公民館利用者の皆さんの意見を拝聴しながら市民ニーズに合わせた企画を検討し、公民館運営審議会で審議していただき、各年齢層に魅力ある講座の実施に努めます。

○ 重 点 事 業

- 1 富士見文化センター空調設備・屋上防水等改修設計及び工事
- 2 親切窓口対応の向上
- 3 公民館の運営形態の見直し
- 4 施設の適正な維持管理及び効率的な活用
- 5 各地区館における利用者懇談会の実施
- 6 市民講座ボランティアとの協働による魅力ある市民講座の実施